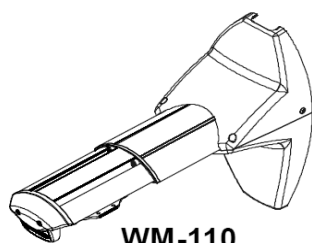


# 取扱説明書

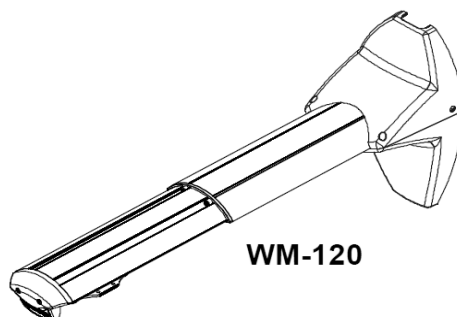


## 短焦点プロジェクター用壁マウント

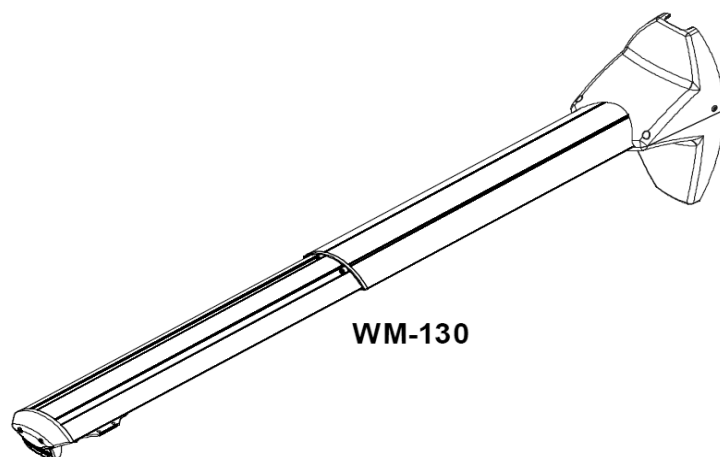
型番 WM110 / 120 / 130



WM-110



WM-120



WM-130

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

**必ずお守りください。**

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

**販売店様、工事店様へ**

- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 不注意や誤った取扱いをすると、人が死亡または重大な事故につながる場合があります。
- 大地震など想定外の要因により、万一転倒しても、人的被害が発生しない場所に設置してご使用ください。
- 地震発生の際には、すみやかに本製品から離れてください。

## 安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

-  警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
-  警告：取り付けしているネジがゆるんでいたたり、抜けていたりすると、金具やプロジェクターの落下につながり、非常に危険です。
-  警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
-  警告：プロジェクターの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にプロジェクターを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
-  注意：運送による破損の可能性があるので、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

## 設 置 の 前 に

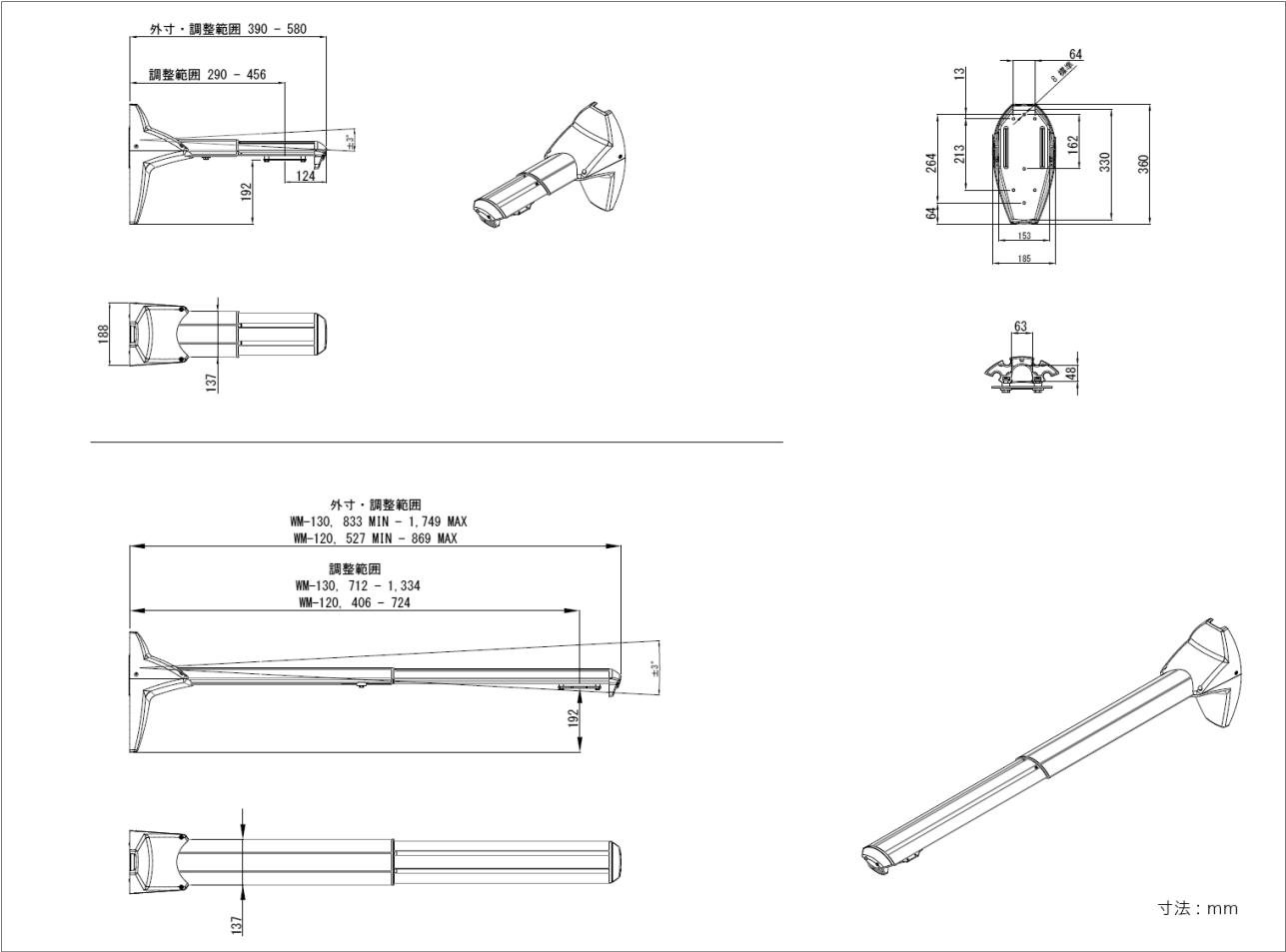
### ■ 設置場所について



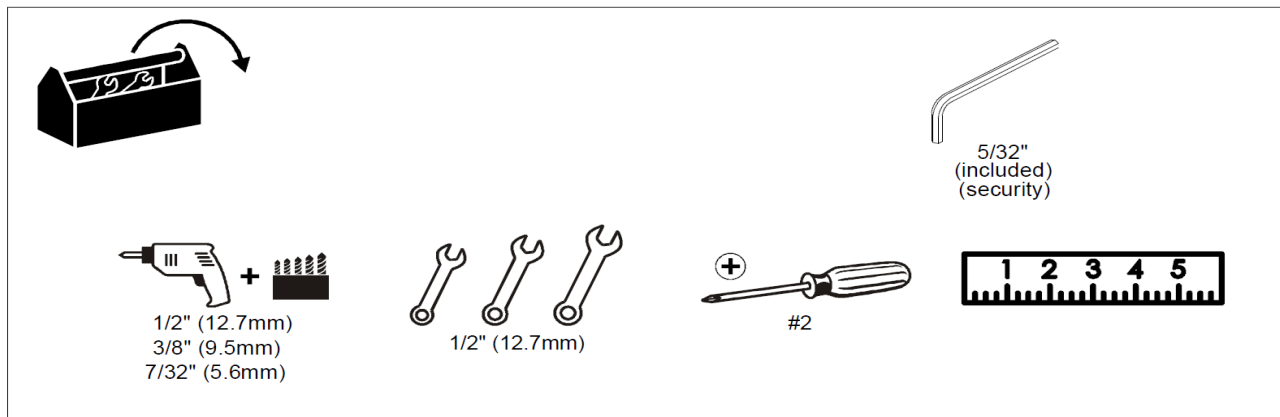
- 本製品とプロジェクターを設置する場所は、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる場所に設置してください。
- 設置の前に、プロジェクターを含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、耐荷重の範囲を超えないようにしてください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。

**誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が脱落して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。**

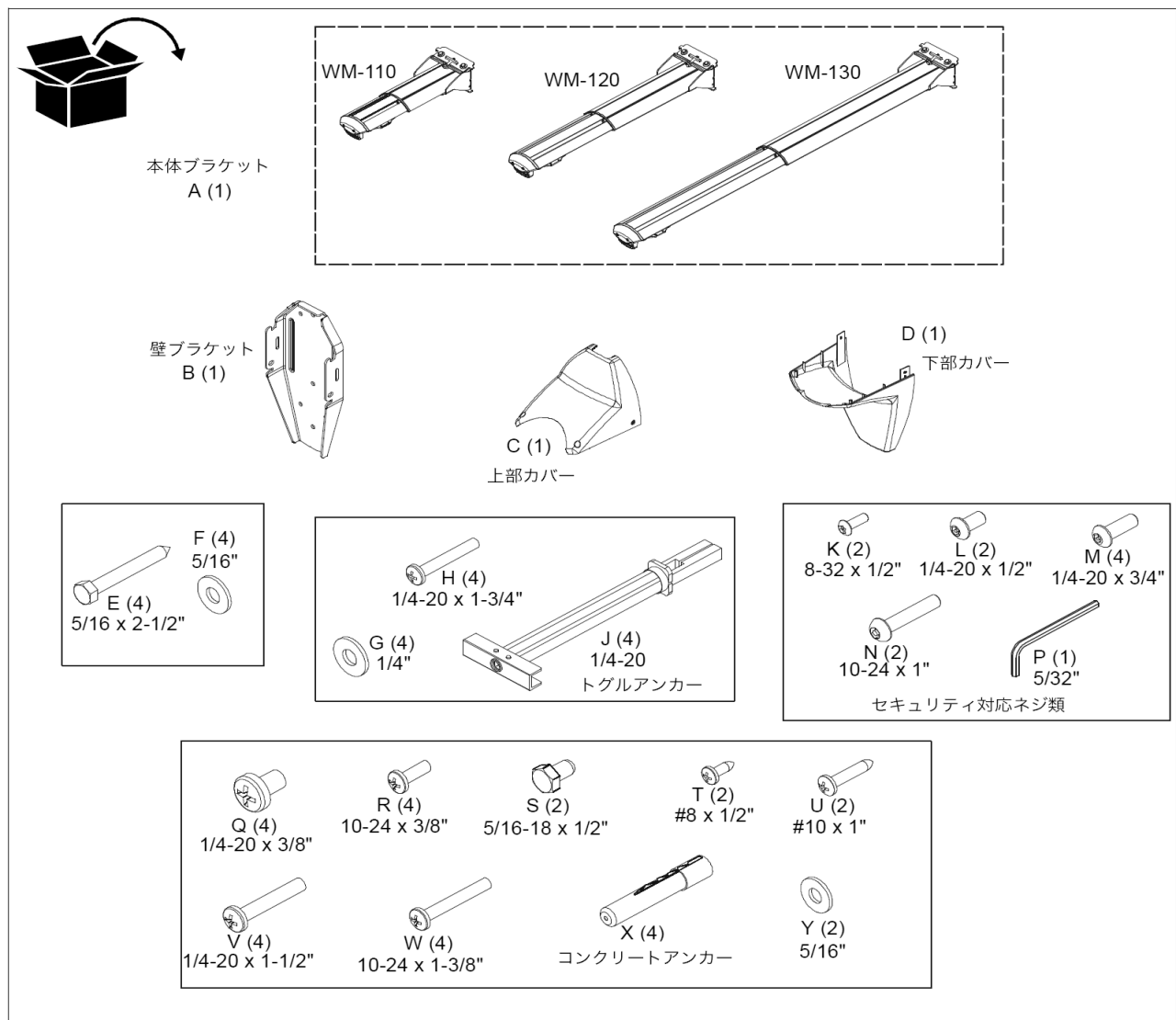
■各寸法図



■本体の組み立てに最低限準備いただく工具



■本製品の封入物



## ■組み立て手順

### 壁面の下地補強と安全性の確保について

プロジェクターを取り付ける壁面には、本製品とプロジェクターその他アクセサリ等を含む荷重がかかります。



短焦点プロジェクターの投射には、特に設置精度が求められ、壁面の補強の工法によっては水平が取れないなどの問題が出る場合がありますので、専門の取付業者の責任のもと、補強さんや、補強板についてはかかる荷重をじゅうぶんに検討の上、選定してください。



安全性を考慮した場合、壁に取り付ける全荷重の4倍以上の荷重に耐えうる補強と、取付方法を採用してください。



本取扱説明書ではコンクリート壁面を例に挙げて解説していますが、その他の構造の壁面につきましては、安全が確保できることと、水平が維持できる強度が満たせるよう検討してください。



誤った取り付けは、機器の脱落や落下につながり、重大な人身傷害または損傷を引き起こす可能性があります。

以下の図は、コンクリート壁面に壁ブラケットを取り付けるための最小要件を示しています。

### ■壁面への壁ブラケットの取付け

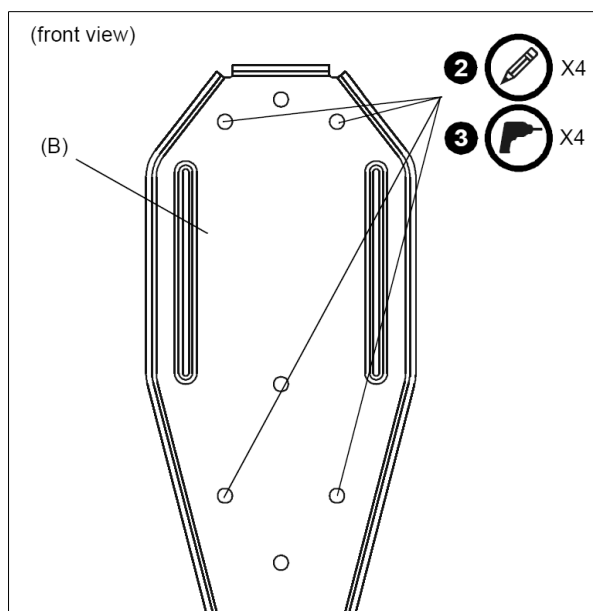


図 1

コンクリートにアンカー固定する場合には、図の4か所の位置に固定してください。

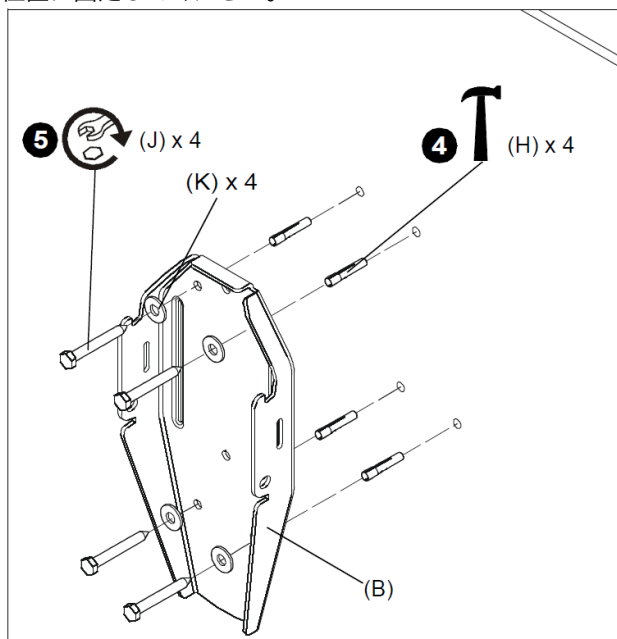


図 2

壁面への取付には付属のコンクリートアンカーとネジをご利用いただけますが、壁の仕上げ方法によってはそれらに適した固定具を別途ご準備の上、安全に固定してください。

### ■壁ブラケットに本体ブラケットを取り付ける

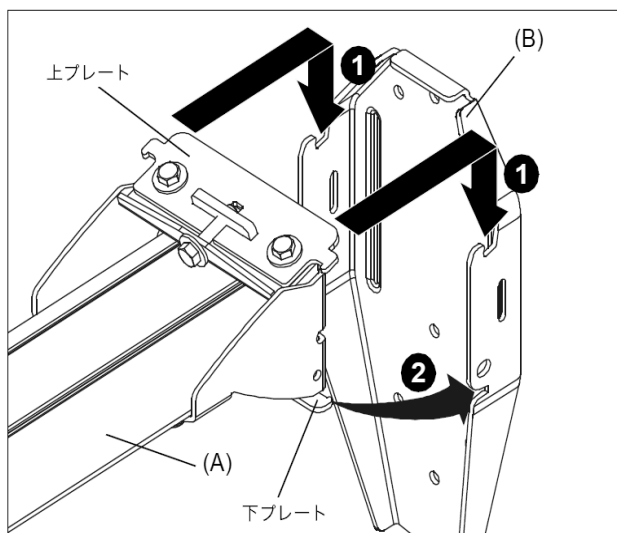


図 3

図のように、壁ブラケットのフックに本体ブラケットを引っかけるようにしてください。

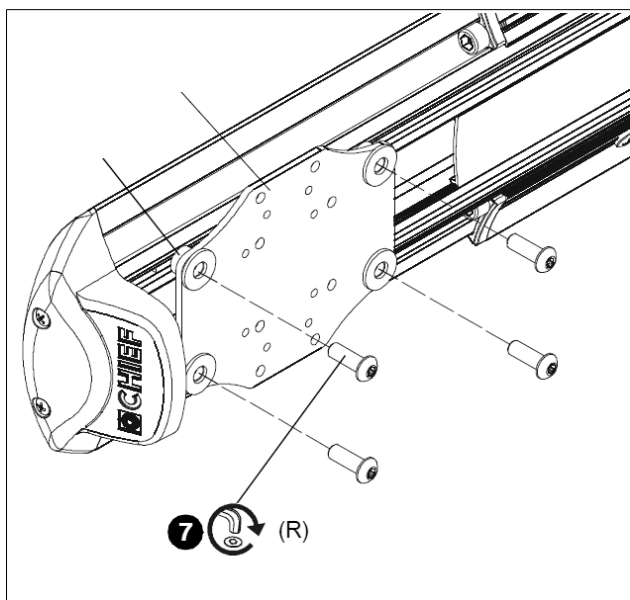


図 5

この RPMA 型プロジェクター取付プレート部分にはセキュリティ対応のネジが付属しています。必要に応じて (R) のネジに取り換えてください。

#### ■RPMA プロジェクターブラケットの取付け

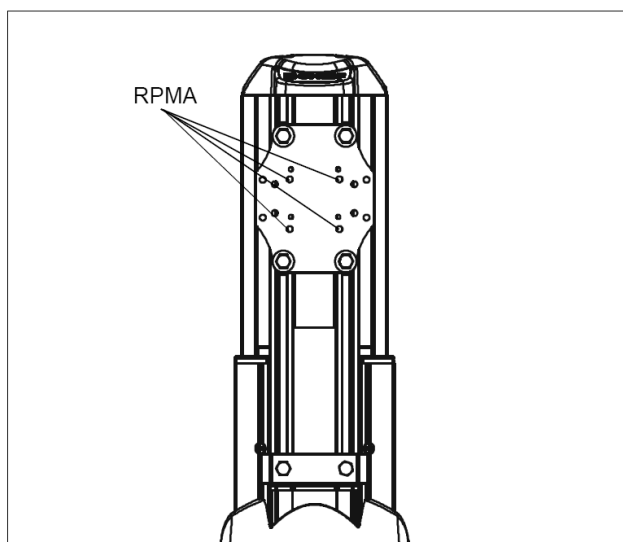


図 6

RPMA 型プロジェクターブラケットの取付位置は図の RPMA と表示された 4 か所が固定ネジ位置になります。

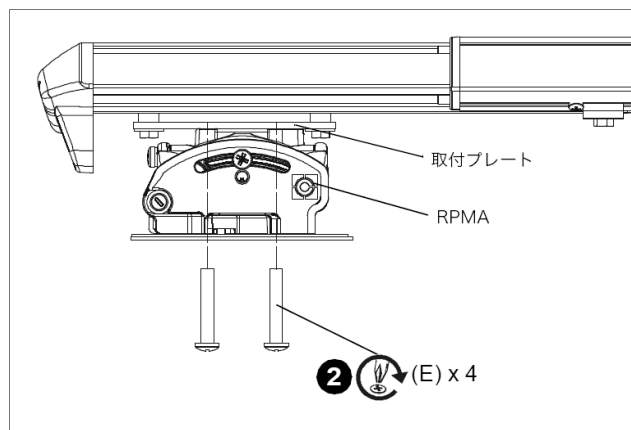


図 7

図のように RPMA 型プロジェクターブラケットを (E) のネジ 4 本で固定してください。

RPMA 型プロジェクターの組み立ておよび調整については、別途取扱説明書を参照してください。

#### ■角度の調整

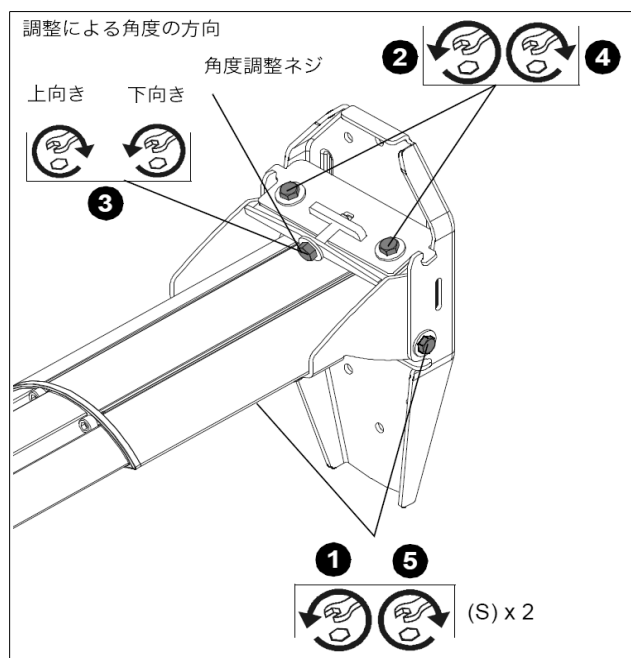


図 8

本体ブラケットのアームの水平レベルを調整する場合には、上側と両側のボルト 2 本ずつをそれぞれ (2)、(1) のようにボルトを緩め、(3) の角度調整ナットで調整してください。

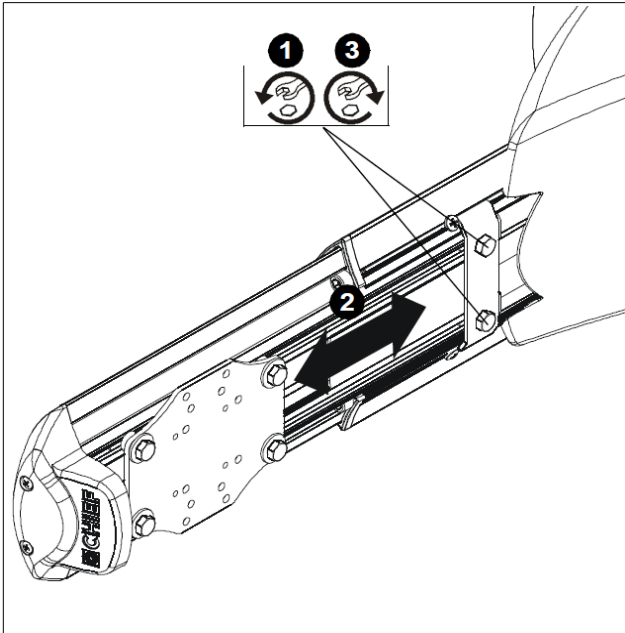


図 9

アームの長さを調整する場合は、図の固定プレートのネジを緩めてアームを調整してください。  
調整が終わりましたら、固定プレートのネジは締めますが、この固定プレートのネジはセキュリティ対応のネジに交換することができます。

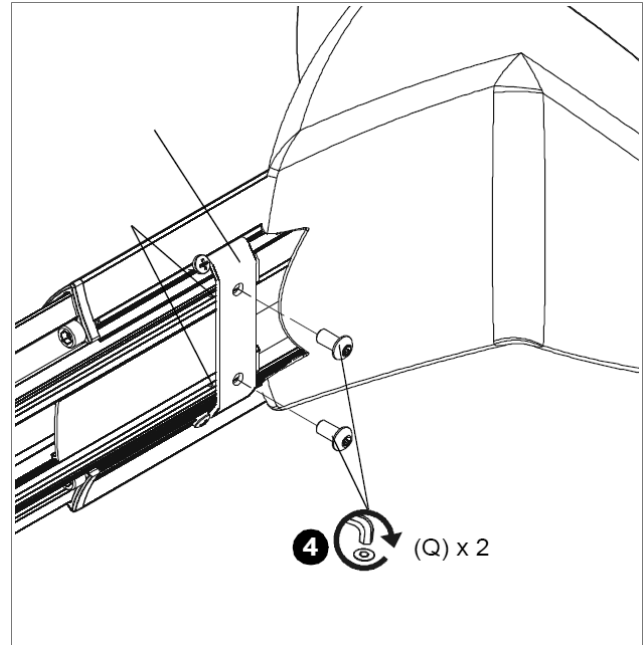


図 11

元のネジが取り外せたら、図 11 のように固定プレートに (Q) のネジを取り付けてください。

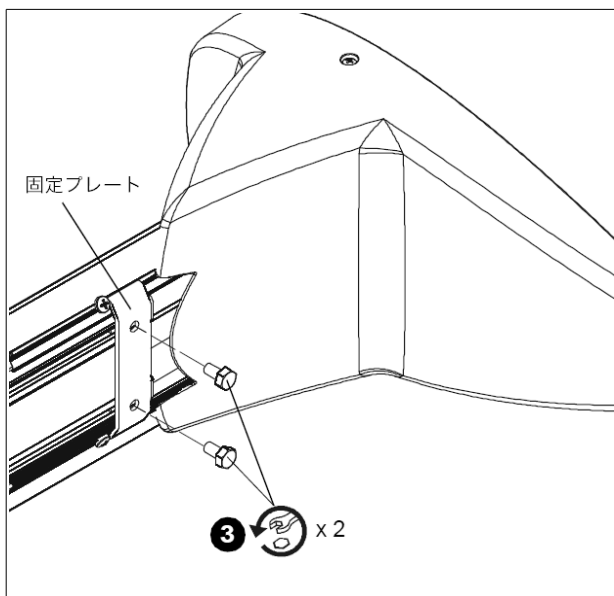


図 10

はじめに、固定プレートのネジを取り外してください。  
この時、高所作業でプレートを落下させないように、ネジは必ずひとつずつ交換してください。

#### ■化粧カバーの取付け

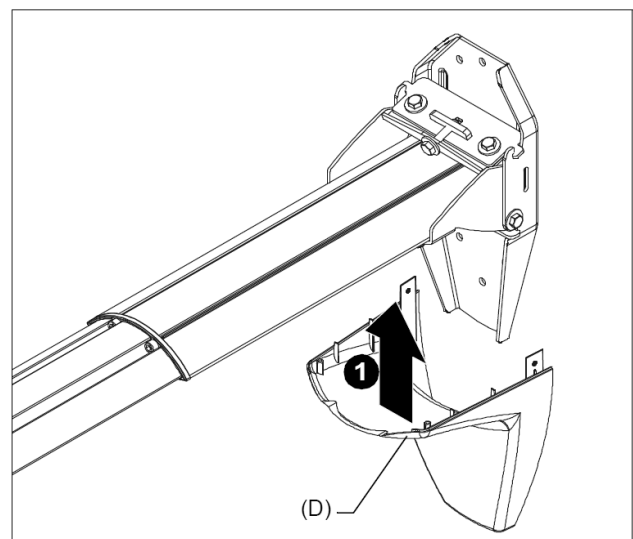


図 12

まず下部カバーを本体ブラケットにセットしてください。

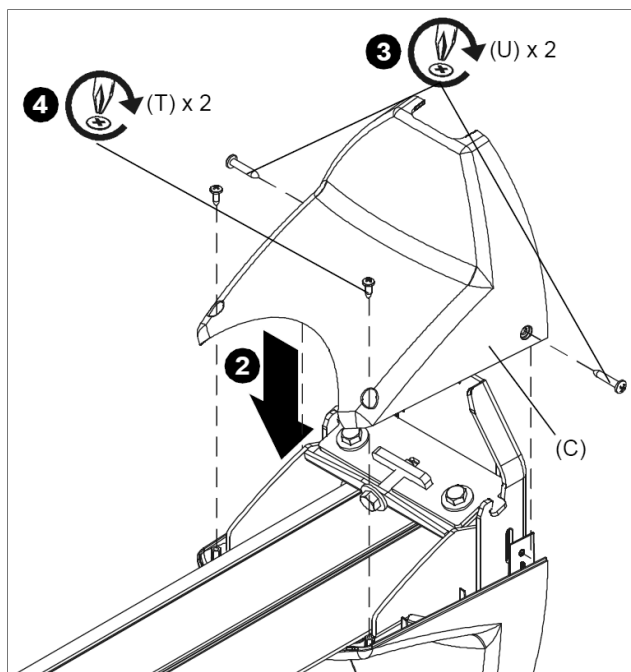


図 13

次に上部カバーを取り付けてそれぞれのネジで固定してください。